

平成29年度 自己評価書

学校名	和歌山市立城東中学校
校長氏名	楠 見 健
作成日	平成30年2月3日

1 教育目標

人権尊重の精神を基盤とし、
「自分を大切にし、他人を大切に作る人間」の育成

2 本年度の取組についての評価

	地域とともにある学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標【P】	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会を導入する ○保護者や地域との信頼関係を深める ○情報を発信して、本校の取組について理解してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ○心身ともに健康で、豊かな感性を育てる(生徒指導。キャリア教育を含む) ○人権教育を推進し、人権意識を高める ○体力の向上に努める(規則正しい生活) 	<ul style="list-style-type: none"> ○読解力、計算力など、基礎基本の定着を図る ○思考力・判断力・表現力の育成を図る ○主体的に学習する態度を育成する
取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会開催(8月、2月) ○授業参観、PTA総会、部活動紹介(4月) ○学校開放実施(11月) ○土曜公開授業(11月) ○体育大会・文化発表会等、学校行事を地域に広報 ○小学6年生体育大会参加(10月) ○小学6年生部活動見学(11月) ○外部人材活用(年間) ○学校HP作成、掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ○めいわく調査、いじめアンケート(年3回) ○教育相談の実施 ○カナダ親善訪問との交流会(5月) ○2年生職場体験(10月) ○3年生進路指導の充実 ○道徳教材「希望へのかけはし」「わたしたちの道徳」の活用 ○情報モラル教室の実施(6月) ○1年生キッズサポート(7月) ○3年生長崎修学旅行で平和学習(10月) ○人権同和特設授業の取組(6月、11月) ○城東ブロック人権研究会(5月、12月) ○給食指導を中心とする食育の推進 ○あいさつ運動(毎日) ○救急救命講習会(1年生、11月) ○性教育特別授業(2年生11月、3年生2月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○落ち着いた学習環境の維持 ○全国学力・学習状況調査(3年生4月) ○基礎学力テスト(1年生4月) ○評価問題・テスト実施(1,2年生2月) ○研究授業・教員研修等、現職教育の充実 ○学び合いの授業づくり ○和歌山大学学生ボランティア活用 ○校内外の施設環境の保全・整備 ○教材・図書・教具等、備品の整備・保全・充実 ○教室等の掲示・展示の工夫 ○放課後学習・夏季休業中補習実施 ○主体的・対話的で深い学び(いわゆるアクティブ・ラーニング)への取組 ○ICT機器を利用した授業の取組 ○1、2年生数学少人数授業実施 ○別室登校生への対応
取組の状況【G】(取組の成果)	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の小学生に本校のよさを伝えることができ、来年度の入学者は校区小学校卒業生の7割である ○学校を訪れてもらう機会を工夫し、多くの方に来校してもらえた 	<ul style="list-style-type: none"> ○「道徳の時間」の実施時数を確保した結果、いじめ事案の認知件数は0件であった ○一人ひとりに応じた指導を推進し、積極的な生徒指導(問題の未然防止)ができた ○人権教育を充実したものとし、生徒の意識を高める取組を継続していく必要がある ○遅刻や無断欠席はほとんどみられない 	<ul style="list-style-type: none"> ○不登校生徒の対応は丁寧に行っている。別室指導の生徒への配慮もきめ細かくできている ○教材・図書・教具等、備品の整備・保全に努めたが、さらに整えていく必要がある ○現職教育を充実したものとすることができた教員の意識の変容がみられた ○積極的に読書活動に取り組む姿勢がみられた
取組の状況【A】(今後の取組)	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会ではさらに積極的な意見交換をしたい ○今後も小・中学校間の交流学習・連携を積極的に進める ○これまでの取組をさらに充実させながら継続できるように努める 	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、国際親善(カナダ)に積極的に取り組み、生徒の意識の変容を促したい ○「早寝、早起き、朝ご飯」の手引きを活用して更なる徹底を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎基本の定着させるため、放課後学習に毎日取り組めるようにする ○引き続き朝読を実施し、内容を充実させる ○主体的・対話的で深い学び(いわゆるアクティブ・ラーニング)への取組にむけて現職教育の内容を充実させる

3 その他の課題

- 生徒数の減少及びそれに伴う教員数の減少への対応
 (・生徒個々にあった指導や支援 ・不登校生徒、別室登校生徒への対応 ・部活動の在り方)
- 教育環境の整備 (・施設設備の老朽化 ・ICT教育機器の維持・管理)